

お早ございます。学校にとっては今日からが1年の始まりです。気持ちを新たに、また1年頑張らしましょう。

さて、このところ、大学入試の形態が大きく変わるとか、社会が大きく変わっているという話ばかりを話してきたので、今日はちょっと話題を変えます。

皆さん、角野栄子（かどのえいこ）さん、ご存じですか？「魔女の宅急便」と言った方がわかりますよね。先週、「国際アンデルセン賞」を受賞しました。「国際アンデルセン賞」と言えば、読書好きな人は「児童文学のノーベル賞」と言うくらい大きな賞です。過去には、まどみちおさん、「そうさん」上橋菜穂子さん「精霊の守人（もりびと）」が受賞し、日本人では3番目。

スタジオジブリがアニメで映画化したから、読んでいなくても知っている人、多いですよ。私も子育てしながら、子供に読んであげました。13歳の女の子、キキが、一人前の魔女になるために、修行の旅に出るお話です。知らない町で一人暮らしを始めるのですが、そそっかしいキキの取柄と言えばほうきに乗って空を飛ぶことぐらい。そこで宅急便屋さんを始めるのです。実はこのお話は、1989、テイラー・スウィフトと同じ年に生まれたので、28年前の作品です。失敗して、落ち込みながら、時には魔法も使えなくなりながらも、色々な体験をしてたくましく大人になっていくというお話です。今回知ったのは、「魔女の宅急便」は6巻まであり、6巻ではキキが35歳になって子供も2人いるそうです。また、続きを読みたいなと思っています。本校の図書館では、早速カウンターに展示してくれています。皆さん、是非借りてください。私は遠慮して八王子の図書館で借りることにします。私の娘は明日入って来る1年生と同じ年です。ですから、私も皆さんの小さいころと同じような本を娘と一緒に読んでいます。「エルマーの冒険」、「ナルニア国物語」「ライオンと魔女」「カスピアン王子の角笛」映画にもなりました。冒険ものが多かったですね。

今年は皆さんに大いに読書をしてほしいと思っています。

この話のオチが、また、堅い話になってしまいますが、昨年度、新大学入試テスト、プレテストを行いましたね。この分析結果が、新聞で発表されたのですが、やはり記述があまり良くないそうです。前回のPISAの結果もそうでしたが、このプレテストの結果でも、読解力が足りないと言われている。

みなさんは、電車やバスの中や、ちょっとした隙間時間に是非本を読む習慣をつけてください。本校の図書館には、先生方が、本の感想を書いてくれています。そういうのをヒントに、「読んでみようかな」と手に取ってくれたらうれしいです。私も皆さんに読んで欲しい本をリクエストして、買ってもらっています。新刊の棚をのぞいてください。

今、高大接続改革にしても、新大学入学テスト、新しい大学入試制度にしても、基本は、やはりしっかりと力をつけることです。2年生、3年生、目の前の勉強も大切ですが、読解力は一朝一夕にはつきません。地道に続けていると、いいことがあります。

最後になりますが、

明日から1年生が入ってきます。是非先輩らしい姿を見せてください。

あいさつ。いつもありがとう。とってもいい挨拶をしてくれています。

でも、もう少し、相手に聞こえるくらい大きな声であいさつしてほしいなという人もいます。

1年生には、皆さんの姿が基準となります。

是非先輩らしい、いい挨拶をしてください。ご近所の人にもしてください。

今日から1年、また、一緒に頑張りましょう。